

ISO 対応 Q&A

2025 年 4 月

国際営業部

目 次

<共通項目>

- Q1.ISO20022 の対応とはどういったものですか
- Q2.ISO20022 に対応することで何が変わるのですか
- Q3.すべての銀行が、新しい ISO20022 フォーマットを利用するのでしょうか（他の銀行も ISO20022 は対象ですか）
- Q4.移行のスケジュールを教えてください
- Q5.具体的に何をすればよいのでしょうか
- Q6.移行に関する対応は今回だけでしょ

<住所情報等入力データの整理について>

- Q7.都市名が分からない（ネットで検索しても出てこない等）
- Q8.手元にあるデータが何の情報か分からない
- Q9.住所を調べていくと、従来の送金内容と異なる部分が判明したが、どうすれば良いのでしょうか
- Q10.受取人住所はどこまで入力する必要があるのでしょうか
- Q11.受取銀行の住所情報も細分化する必要があるのでしょうか
- Q12.他の金融機関と住所分割する項目が違うのはなぜでしょうか
- Q13.IBAN コードや BIC（SWIFT）コードは、入力の必要がありますか
- Q14.国別銀行コードとは何ですか
- Q15.BIC（SWIFT）コードと国別銀行コードはどちらを入力すればいいですか
- Q16.IBAN コードや BIC（SWIFT）コードがあるか、わかりません

Q17.経由銀行がある（ない）場合は、どうすればいいですか

Q18.国際収支項目番号とは何ですか

Q19.受取人へのメッセージは入力必須ですか

Q20.送金目的コードの入力は必須ですか

Q21.最終受取人とは何ですか、最終受取人の入力が必要ですか

Q22.取引主体識別子（LEI）とは何ですか

Q23.送金依頼の入力画面にグレースアウト項目があり、入力できませんが、どうしたらいいですか

Q24.輸入 LC 開設に変更はありますか

Q25.為替予約に変更はありますか

Q26.被仕向送金に影響がありますか

<窓口でお手続きをいただいているお客さま>

Q27.移行後の送金手続きの方法を教えてください

Q28.事前受付サービスの操作方法、入力方法を教えてください。

Q29.事前受付サービスで、申込日当日に送金手続きを行いたい

Q30.紙ベースの受付を継続して欲しい

共通項目	
Q1.ISO20022 の対応とはどのようなものですか	<p>ISO20022 とは、国際標準化機構 (ISO) がデータフォーマットの共通化・標準化を目指して規定した、金融通信メッセージの国際標準フォーマットです。</p> <p>現行フォーマットに比べ、よりシステム処理に適した形で、お取引に関わる豊富な情報を送受信することが可能な共通フォーマットとして、世界各国で新しい SWIFT 送金フォーマットとして採用が進められています。</p> <p>制度上 2025 年 11 月までに、新フォーマットへの切替が必要となっております。</p> <p>なお当行では 2025 年 8 月 4 日発電分より仕向送金受付時のフォーマット変更を行います。</p> <p>フォーマット変更後は、従来通りの受付方法では事務処理が困難となるため、紙ベースでの受付が出来なくなるほか、入力項目が細分化されます。</p>
Q2.ISO20022 に対応することで何が変わるのですか	<p>ISO 20022 では金融メッセージの標準化を行い、より詳細で豊富なデータを含むことができ、取引の透明性と精度が向上します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.相互運用性の向上：異なるシステムやプラットフォーム間での相互運用性が向上し、グローバルな金融取引がスムーズになります。 2.効率性の向上：自動化と標準化により、手動プロセスが減少し着金までのスピードが上がります。 3.規制遵守の強化：ISO 20022 は、規制要件に対応するための詳細なデータを提供することができるため、規制遵守が強化されます。(金融機関におけるマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与防止対策等) 4.サービスの向上：詳細で正確なデータに基づくサービス提供が可能となります。

<p>Q3.全ての銀行が、新しい ISO20022 フォーマットを利用するのでしょうか（他の銀行も ISO20022 は対象ですか）</p>	<p>はい。ISO20022 は、全世界を対象とした国際的な標準規格であり、世界中の金融機関で採用されています。SWIFT ネットワークで使用されている現行のフォーマットは廃止され、ISO20022 フォーマットに統一されるため、2025 年 11 月までに ISO20022 移行を行うことが制度上求められています。当行以外の銀行でも、移行のうえ同フォーマットを利用することとなります。</p>
<p>Q4.移行のスケジュールを教えてください</p>	<p><u>～共通～</u> 2025 年 8 月 4 日（月）の発信処理分から新フォーマットでの受付を開始します。移行後、旧フォーマットでの受付はできません。</p> <p><u>～外為 IB をご利用のお客さま～</u> 2025 年 5 月 7 日（水）から、新フォーマットでの送金データ登録（テンプレート登録）が可能となります。8 月 4 日の移行に向けて、事前に送金データの登録作業をお願いします。 また 8 月 4 日以降の新フォーマットでの送金については、7 月 4 日（金）以降、依頼が可能となります。※送金指定日は申込日から 1 か月以内の範囲です。</p> <p><u>～窓口でお手続きをいただいているお客さま～</u> 既存の紙ベース（Excel、タブレット受付含む）での受付は 2025 年 2 月末で原則廃止しました。以降のお手続きは「外国送金事前受付サービス」をご利用いただくようお願いいたします。なお 8 月 4 日以降の新フォーマットでの送金については、7 月 4 日（金）以降、事前受付サービスで入力が可能となります。※送金指定日は申込日から 1 か月以内の範囲です。</p>

<p>Q5.具体的に何をすればよいでしょうか</p>	<p>主に以下の対応が必要となります。</p> <p>～共通～</p> <p>新フォーマットでは、送金受付時に必要な情報が現在と異なる部分がでできます。特に受取人住所については細分化することが求められますので、お早目の対応をお願いします。受取人住所の細分化については最低限、①国名、②都市名、③その他住所、の3項目に分けていただくことを想定しています。なお送金国によっては④州・省名の記載が必要になる場合もありますので、ご注意ください。</p> <p>～外為IBをご利用のお客さま～</p> <p>現在、保存されている送金情報のテンプレートを、新フォーマットへ移行していただく必要がございます。実際の移行作業は2025年5月7日(水)から可能となります。移行に際しては「ISO20022 対応版 移行ガイド (外為IBのログイン後の画面に準備しています)」やEBサービス照会センター(0120-075-160)をご活用ください。</p> <p>～窓口でお手続きをいただいているお客さま～</p> <p>2025年2月末をもって、現在の紙ベース(Excel、タブレット含む)での送金受付を廃止しました。今後の送金については、「事前受付サービス」をご利用ください。なお事前受付サービスでは当日の送金受付ができませんので(申込から最短2営業日)、時間に余裕をもった手続きをお願いします。</p>
<p>Q6.移行に関する対応は今回だけでしょ うか</p>	<p>外国送金、決済制度を取り巻く環境は、日々変更や更新されております。恐れ入れますが、今後も、お客さまに制度への準拠のご対応を依頼する可能性はございます。</p>

住所情報等入力データの整理について	
Q7.都市名が分からない (ネットで検索しても出てこない等)	受取人に直接確認を行っていただく方法が確実です。都市名が無い場合は「区・町・村」にあたる部分をご確認ください。
Q8.手元にあるデータが何の情報か分からない	受取人へご確認をお願いします。
Q9.住所を調べていくと、従来の送金内容と異なる部分が判明したが、どうすれば良いでしょうか	変更いただいて問題ありませんので、受取人に確認のうえ、正しい住所を入力してください。
Q10.受取人住所はどこまで入力する必要があるでしょうか	<p>最低限、①国名、②都市名、③その他住所、の3項目に分けて入力してください。また送金国によっては④州・省名の記載が必要になる場合もあります。</p> <p>なおより詳細な対応が可能なお客さまにつきましては、国名、州・省名、都市名、区・町・村名、通り名、番地、建物名など、項目ごとに分けて全て入力してください。入力項目については送金国により異なりますが、移行後の画面では送金国を選択することで、必要項目が表示されます。</p> <p>【ご参考】</p> <p>住所情報を、①国名、②都市名、③その他住所、に分ける方法を、「セミ構造化」と呼びます。対して、国名、州・省名、都市名、区・町・村名、通り名、番地、建物名など、項目ごとに全てを細分化する方法を「フル構造化」と呼びます。※入力項目は送金国により異なります。</p> <p>ISO20022 では将来的に全ての送金を「フル構造化」で対応することを目指していますが、利用者への負担を考慮し、現時点では「セミ構造化」も認められている状況です。</p> <p>ただし、「セミ構造化」での処理がいつまで認められるかは不透明であり、可能なお客さまについては、「フル構造化」でのご対応を推奨しています。</p>

Q11.受取銀行の住所情報も細分化する必要はあるでしょうか	新フォーマットでは、受取銀行のコード検索機能を追加しますので、細分化は不要です。コード検索にはIBANコード、BIC（SWIFT）コードを使用しますので、お手元のコード情報が正確か、念のためご確認をお願いします。
Q12.他の金融機関と住所分割する項目が違うのはなぜでしょうか	金融機関・送金国ごとに、投入項目や分割基準が異なっていますので、それぞれの金融機関の案内に従って対応ください。
Q13.IBANコードやBIC（SWIFT）コードは、入力が必要ですか	ヨーロッパはじめIBANコードを採用している国向けについては、IBANコードが必須です。IBANが無い国については、BIC（SWIFT）コードが必須となります。
Q14.国別銀行コードとは何ですか	アメリカのABAナンバーや、中国のCNAPSコード等の、各国が個別に保有する銀行番号を指します。受取人から指示がある場合、入力願います。
Q15.BIC（SWIFT）コードと国別銀行コードは、どちらを入力しますか	BIC（SWIFT）コードを入力願います。送金先により国別銀行コードが必要とされる場合（アメリカや中国など）は、追加で入力願います。
Q16.IBANコードやBIC（SWIFT）コードがあるか、わかりませんか	受取人にご確認のうえ、IBAN・BIC（SWIFT）コードの特定をお願いします。
Q17.経由銀行がある（ない）場合は、どうすればいいですか	経由銀行がある場合は、「入力する」を選択し、BIC（SWIFT）コードを入力し、「BICから銀行情報を取得」ボタンを押下してください。ない場合は入力は不要です。
Q18.国際収支項目番号とは何ですか	日銀が定める国際取引における資金の用途を分類するための3桁の番号です。入力は任意です。
Q19.受取人へのメッセージは入力は必須ですか	入力は任意です。送金受取人と共有している取引番号などがありましたら、ご入力ください。
Q20.送金目的コードの入力は必須ですか	送金相手国により、送金目的コードの入力が必要な場合がございます。該当する取引の場合は入力願います。
Q21.最終受取人とは何ですか、最終受取人の入力は必要ですか	「最終受取人」とは、ISO20022における新規項目になります。 受取人の口座に入金されますが、最終的に資金を受取る方が別に存在する場合は、最終受取人欄は「入力する」を選択し、情報を登録してください。受取人が受取る場合は「入力しない」を選択してください。

Q22.取引主体識別子 (LEI) とは何ですか	国際規格に基づき企業等の取引主体に割り当てる 20 文字の英数コードで、金融取引の当事者を単一的に識別するための識別子です。入力任意です。
Q23.送金依頼の入力画面にグレーアウト項目があり、入力できませんが、どうしたらいいですか	選択した国ごとに必須項目の表示 (入力チェック) を行っており、入力が不要な項目はグレーアウトをしております。
Q24.輸入 LC 開設に変更はありますか	新画面移行後は、「受益者情報」「依頼人情報」の事前登録機能が使用できなくなります。その他の操作・受付方法に変更はございません。
Q25.為替予約に変更はありますか	変更はございません。
Q26.被仕向送金に影響がありますか	お客様の新たな作業等は特に発生いたしません。

窓口でお手続きをいただいているお客さま	
Q27.移行後の送金手続きの方法を教えてください	2025 年 2 月末で、現在の紙ベース (Excel、タブレット含む) での送金受付を廃止しました。今後の送金については「外国送金事前受付サービス」をご利用ください。なお事前受付サービスでは申込日当日の送金受付ができませんので (申込から最短 2 営業日)、時間に余裕をもった手続きをお願いします。法人・個人事業主のお客さまにつきましては、外為 IB の導入も検討ください。
Q28.事前受付サービスの操作方法、入力方法を教えてください。	詳細手順等についての照会は、EB サービス照会センター (0120-075-160) をご活用ください。サポート窓口が繋がりにくい場合等でお急ぎの場合は、お取引店までお申し出ください。 ※照会センターは専属の人員が対応していますので、当行で対応する場合に比べ、より専門的なサポートを受けることができます。
Q29.事前受付サービスで、申込日当日に送金手続きを行いたい	内容精査のため、申込日当日の受付はできません。申込日から最短で 2 営業日後が窓口での受付日となりますので、時間に余裕をもった手続きをお願いします。

Q30.紙ベースの受付を継続して欲しい

ISO20022 移行後はシステムが複雑化し、紙ベースでの受付では事務処理が困難となるため、継続はできません。ご理解をお願いいたします。

以上